

入会通信

発行所 ●大阪府グラフィックサービス協同組合コスモス会
編集責任 ●コスモス会事務局

情報・文化グループセミナー

「生活の中の暦」と女流講談師の夕べ

令和元年7月20日(土) 参加:12名

第1部 セミナー

「生活の中の暦」

15時30分～18時15分

会場:レンタルスペース FUTABA

講師:第一株式会社 寛 順子氏

日本人の中の生活に生きる暦のこと、祝祭日についての話などカレンダー業界から講師をお招きして、勉強しました。

本年5月1日をもって新元号「令和」に改元され、ゴールデンウィークが10連休。長い休暇になれていない私達は大変戸惑いま



した。また、10月22日は「即位礼正殿の儀」。新天皇御即位の今年に限り祝日に設定されました。

オリンピックイヤーの来年は、海の日(本来は7月第3月曜日)を五輪開会式前日の7月23日に、スポーツの日(本来は10月第2月曜日)を開会式の24日に、山の日(本来は8月11日)を閉会式翌日の8月10日に変更するなどの祝日移動があり、カレンダー業界の人たちには大変ご苦労なことです。(カレンダーの元になる暦は、2年前から作らないと製作に間に合わないそうです。)

二十四節気は、太陰暦を使用していた時代に季節を現すための工夫として考え出されたもので、一年を二十四に等分し、その区切りと区切られた期間とにつけられた名前です。現在でも季節の節目を示す言葉として使われています。二十四節気の月日は年毎に微妙に変化します。

六曜(先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口)の6種の曜はその日の運勢をあらわすもので、実は特に宗教色はなく、信じるか信じないかは本人次第。

また、日本の旗日を祝祭日、といいますが、戦後に「祭日」が廃止されたため、現在は「祝日」のみであるなど、興味は尽きないお話でした。

第2部 講談鑑賞

「やまとなごころ」

19時00分～21時00分

会場:此花千鳥亭

出演:旭堂小南陵・露の紫

此花千鳥亭は小さな劇場で30人入ればいっぱい。講談を鑑賞する女性はほとんどいないように、この日は我々コスモス会メンバーが11人いたということに、出演者のお二人は大変喜んでくださいました。

上方女流講談師、旭堂小南陵さんは新作講談はもちろん、各種メディア・講演・司会・舞台・大道芸など各地で活躍中。露の紫さんも中堅の女流落語家。臨場感あふれる講談と軽妙な落語で2時間を思う存分楽しみました。

全くの別世界だけれど、こんなところでも女性の活躍が見られ、頼もしく感じました。

報告:田中 範子



第61回ジャグラ文化典

栃木大会

令和元年6月8・9の両日、栃木県宇都宮市のホテル東日本宇都宮に於いてジャグラ文化典栃木大会が開催され、コスモス会から岡、清原、田中が参加しました。

1日目の記念講演は、日光東照宮特別顧問 高橋晴俊氏による『世界遺産日光東照宮の謎と真実』についてでした。現場を知り尽くした人ならではの特別な写真とその説明はとてもわかりやすく、翌日見学の前知識として、大いに役立ってくれました。又、地元ジャグラ会員のお力添えで特別待遇を受け、大変意義深い見学となりました。

2日目、毎年おなじみの旅行メンバーから、「星野リゾート 鬼怒川」の宿泊を含めた一泊旅行のおさそいがあり、私達はこの企画に参加しました。贅沢すぎると思えるホテルでしたが、日頃の疲れを癒やすのに絶好の機会となりました。



◆第3回役員会報告◆

日時:6月12日(水)6時30分
場所:社会福祉指導センター
出席者:木原由中幸・佐々木 山田事務局長

岡・兵頭 仲渡情報文化部リーダー

コスモス会の今後についての

説明会・意見交換会

5月10日、大阪市立中央会館での説明会には、18名の参加を頂きました。

このままでの継続を希望する方がほとんどながらも、印刷業界のコスモス会としての継続は難しい、30周年を機に一線を引こうという意見が多かったように思います。

役員会では、コスモス会らしい業界からの身の引き方を模索中です。

皆さまのご意見を別紙にまとめましたので、一読ください。

役員一同

一筆箋

先日の暦のお話にもあったように、2020年は東京オリンピックに合わせて、海の日・山の日・スポーツの日が動くようですね。今年も後半に入り、私の年内の日曜日もほぼ埋まりました。

これからお盆休みになります。リフレッシュして、さあ、来年への準備をアタマの中からだけでもはじめましょうか。

新保 雅子

今回は柴美花子さんです。